

I 「先行する神の恵み」。

主を信じて45年、そして、札幌ライトハウス教会に遣わされて8年間の恵み。

この8年間の愛に対し、私の心は神と皆さんに感謝でいっぱいです。

1. 主イエス・キリストの恵み＝

私達の罪の為の十字架、死に勝利された復活、今、私達の心に住み、いつも、この8年間も、そばにいて支えて下さっている。天では、父なる神の右の座で、私たちの為に執り成しをしておられる。

私達の親の為の皆様の祈りの支え。

2. 父なる神の大きな愛。

「あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに」エペソ2：4。

大切なひとり子のイエス様を、私達の罪からの救いのために、クリスマスのこの世に遣わし、十字架につけて下さった。

父なる神は、私達が、聖くなる為に、悪の道にそれる時には、愛の懲らしめを与え、神との正しい関係に立ち戻らせて下さる。

「霊の父は私たちの益のために、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして訓練されるのです」

ヘブル12：10。

私達を神の大切な子供として愛し、正しい道に導かれる。この8年に感謝。

3. 聖霊なる神の親しい交わり。

私達が主を信じる時、御聖霊は、私達の心に住み、私達と親しく交わりをされる。

御聖霊は、私達の罪を示し、その数えきれない罪の為に主が十字架で死に、私達の罪を償われた恵みを信じる信仰を与えて下さる。

信じた後も、私達が試練に会う時、慰め、励まし、相応しい御言葉を示して下さい。

少しずつ、御霊の実「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」を私達の心に結ばせて下さる。その内側の新しい実が、私達の行いとなって現れる恵み。この8年間も、一步一步。

II 神の選びによる出会いの恵み。

「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び」ヨハネ15：16

1. 人生の中で、最高の出会い＝主イエスとの出会いという奇跡的な恵み。感謝！

2. この8年間の中で、皆さんとの出会いという奇跡的な恵み。

私達は、世界中の人々と出会い、主にあって、親しく交わる事は出来ない。

出会いには、神の計画、御支配、選びがある。

この8年間、神のご計画で、皆さんと出会い、主にある親しいお交わりができた恵みを心から感謝します。

皆さんから受けた愛、慰め、励まし、愛の助言、愛の奉げ物、一つ一つを覚えて感謝します。

同じ様に、劉先生ご夫妻を、愛をもって霊的に支え、経済的に支えて下さい。

牧会者夫婦と信徒が互いに支え合う時、教会は成長する。この8年も！

3. 毎週の礼拝説教の為に祈って下さり、牧師の祈りながらの準備と信徒の皆さんの祈りの結晶、教会の共同の業としての説教を、良く聞いて下さり（これは説教者への最高の支え）、その生ける御言葉が、教会を8年間、成長させた恵みを感謝します。

この8年間で、約25名の方々（洗礼、転入）を教会に加えて下さった恵みを感謝します。

これまで教会を支えてきた方々と新しい方々が愛し合う関係の恵み。

頭は、キリスト。頭であるキリストが、キリストの体なる教会の手足である私達に、愛の指令を出され、私達が、それぞれの賜物に従って感謝しつつ奉仕をし、教会が建て上げられる。

牧会者と信徒の祈りの結晶である「礼拝説教」は、キリストの体（教会）のどの部分に当てはまるだろうか？それは、体の各器官に、命である血液を送る源の「心臓」に当てはまる。

信徒に祈られ、説教者の準備が祝され、共同の業としての説教が祝福されると、そこに主の力、臨在があり、信徒が霊的に養われ、新来会者、求道者の方々も救われて行く。

もちろん、週日や礼拝後の学びと結びついて。

一人一人が主と新しく出会う。牧会者、説教者も。この8年間、この恵みが与えられた。

皆さんも、私も、神を深く知り続けた8年。「支配しない、支配されない」関係。

Ⅲ 経済的な神の満たし。

神は生きておられることの8年間の体験。

「神は、キリスト・イエスの栄光のうちにあるご自分の豊かさにしたがって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます」ペリピ4：19。

8年前の教会の決算は、300万円ほど。現在は、540万円ほどへ。

8年前は、J E C Aから、毎月支援を受けた。最初2011年は、毎月7万円。教会の経済の成長と共に、支援申請を減らし、2016年4月から、J E C Aに支援を依頼せず、経済的にも自立へ。神の満たしのおかげ。主と教会を愛して、喜んで奉げる人を主は加え増やして下さい。

2000年4月からの会堂返済金、4,200万円が、2015年7月24日に完済！

ハレルヤ。神は生きておられ、満たし続けて下さる！

Ⅳ 宗教法人化の恵み。

1. 8年前、私が牧師として就任した時、教会が、法人格を持っていなかったため、郵便局で、教会の通帳を作ることが出来なかった。

その時、主の助けがあった。

主は、郵便局の方に働いて下さり、正式な教会規約もなかったが、郵便局の方が助けて下さり、仮の規約を作り、それにより、教会用の通帳を作ることが出来た。泣きたくするような状況の中で神の助けがあった。私にとり、忘れられない恵み！

2. 私は、2013年に、教会の宗教法人格取得の手續きに取りかかった。

それは簡単な事ではなかった。教会の皆さんが、心から祈って下さった。

約50の申請の書類が必要だった。2013年1月6日の週報から、祈りのリクエストの欄に「宗教法人取得の為」とある。祈りが積まれた。そしてついに、2013年の12月25日に、すべての手續きが終了し、当教会は、宗教法人格を取得した。

国からも、正式に、宗教法人としての人格、「存在」が認められ、「地の塩、世の光」としての使命をますます果たせるようになりました。それまでは、OMFの宗教法人格をお借りして活動していたのです。

Ⅴ 他の数えきれない恵み。

1. 2015年4月ゴスペル教室の初穂としての救いの実。

2. 2015年5月「みことばを分かち合い祈り合うグループ」のスタート。

3. 2016年6月「祈りのしおり」スタート。祈り合う恵み。
4. 2017年9月、墓地奉獻式。
5. 2017年9月から、子供達が、それぞれの楽器、ある子はボーカルを通して神を賛美する「子供賛美」がスタート。
6. 2019年2月10日の総会で劉忠烈（ゆ・ちゅんよる）師（奥様は亜希子姉）を私の後任として、2019年4月から、代表役員、伝道師として招聘することを全員一致で決議の恵み。
7. 会堂修理の恵み。雨漏りからの守り。
8. 最初の年と最後の年は試練があり、同時に神の恵みがありました！Ⅱコリ12：9。

VI 主の良くして下さった恵みを数え、神と人に感謝する時、

- ①神の心を喜ばせ、
- ②人々に神の恵みが伝わり、
- ③自分自身の心にも喜びが増す。
- ④神の恵みを数え、ノートに記したい。その時喜びが増す。
「主が良くして下さったことを何一つ忘れるな」詩篇103：2。
「感謝の心を持つ人になりなさい」コロサイ3：15。
感謝の心を持つ人は真に幸いな人。